

2024年
4～6月期

廿日市市景況調査

Economic survey

廿日市エリアの景況

※旧廿日市市(合併後の区域)の調査結果

産業別の業況DIは、製造業が前回値(▲20.0)から今回値(▲36.4)、建設業が(25.0)から(0.0)、卸小売業が(0.0)から(▲9.1)、飲食・サービス業が(▲7.7)から(▲25.0)と、全産業合計の業況DIは▲20.0ポイントと前回調査(1～3月)から全業種で業況は悪化となった。

日本商工会議所における早期景気観測調査(全国ベース)においても全業種で業況は悪化しており、円安基調による原材料の高騰・物価高による消費低迷が業種を問わず継続している。価格転嫁については、一部企業では進捗が見られるが、度重なる物価上昇に追いついておらず、依然として厳しい状況がうかがえる。

人手不足による労務コストの上昇も継続しており、前回調査時の先行き見通しより、現況を厳しく評価する企業が多く見受けられた。

事業者の声

【製造業】	<ul style="list-style-type: none">・為替(円安)の影響により仕入価格が上昇している。(木製品製造業)・原材料および諸経費が上昇しており、負担割合が大きくなっている。(樹脂製品製造) <p><価格転嫁></p> <ul style="list-style-type: none">・状況を見ながら適宜値上げをしている。・6月より一部商品を値上げした。・販売価格転嫁(製品値上げ)の準備段階だが、今後の最重要事項の一つとして取り組む。
【建設業】	<ul style="list-style-type: none">・下請けでの価格転嫁は難しい。(建築工事)
【卸小売業】	<ul style="list-style-type: none">・同業種との競争、多数の商品値上がりがり重なり、売上増になっていない。(飲食料小売)・事業は安定しているが、社員数が不足している。(石油販売) <p><価格転嫁></p> <ul style="list-style-type: none">・仕入価格を販売価格に転嫁出来ている。・荷主への価格転嫁が実施出来ていない。
【サービス業】	<ul style="list-style-type: none">・取引先の受注減少にともない、自社の売上も減少している。(木製品製造)・テナントの撤退、賃貸の取扱数が減少している。(不動産賃貸)・従業員の高齢化により人材を募集するが、応募がない。(リース)・宿泊、飲食において客数と客単価が上昇してきている。(宿泊) <p><価格転嫁></p> <ul style="list-style-type: none">・取引先からようやく販売価格の上昇を受け入れてもらった。・コロナ禍より原価は著しく上昇したが、販売価格に同じようには反映できていない。

●DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断状況を表す。ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上など実数値の上昇や下降を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

※DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

収入・売上：(増加) - (減少) 仕入価格：(上昇) - (下降)

採算・業況：(好転) - (悪化) 雇用人員：(過剰) - (不足)



業種別景況概要	前年同期	4～6月と先行き見通し									
	全産業	全産業		製造業		建設業		卸小売業		飲食・サービス業	
	対前年比	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
収入・売上	25.6	▲15.4	▲10.0	▲9.1	▲18.2	▲20.0	33.3	▲27.3	▲54.5	▲8.3	16.7
仕入価格	77.8	68.4	57.9	72.7	63.6	83.3	83.3	81.8	72.7	40.0	20.0
採算	36.8	17.5	30.0	▲18.2	9.1	16.7	16.7	27.3	18.2	41.7	66.7
雇用人員	▲23.7	▲35.9	▲38.5	▲36.4	▲27.3	▲66.7	▲83.3	▲27.3	▲27.3	▲27.3	▲36.4
業況	10.3	▲20.0	▲10.0	▲36.4	▲9.1	0.0	16.7	▲9.1	▲36.4	▲25.0	0.0
前回調査	-	▲7.0	▲4.7	▲20.0	▲6.7	25.0	0.0	0.0	▲36.4	▲7.7	23.1

(対象 63 社 回答 40 社)

■設備投資は？

回答 40 社中

R6.4～6月		7～9月見込み	
実施した・する	土地	2	2
	建物	1	3
	機械備品	11	10
	車両	3	5
	IT機器	3	4
	その他	1	0
	計	21	24
実施してない・しない		24	23

■当面の問題点は？

※回答のその他はランク外扱い

第1位	材料費や仕入価格が上昇	23.2%
第2位	従業員や人材の確保が難しい	19.2%
第3位	売上、需要が増えない	15.2%
第4位	人件費が増加している	14.1%
第5位	同業種での競争激化	8.1%

